

八幡西区則松中学校 PTA 連合会

学校名 : 則松中学校

事業名称 : 車いすテニス元日本代表二條実穂選手
講演・体験学習会

【 ソフト事業 ・ ハード事業 】

実施日時 : 令和5年10月30日(月)

場所 : 則松中学校 体育館

講師 : リオデジャネイロパラリンピック車いすテニス
日本代表 二條 実穂 選手

謝礼 : 10万円 (必要経費2万円)

◇実施の目的

車いすを使って生活する苦労や工夫を知り、体験を通して考え、障害をもった方たちと共生する社会について考える。

リオパラリンピック日本代表(女子ダブルス4位)二條 実穂選手の体験談を聞いたり、競技用車いすの使用体験をしたりして、誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。

◇事業の効果

講演後、1.2年生徒全員が車いすの乗車体験を行った。また、車いすテニス体験やデモンストレーションなどの見学を行った。一般的な車いすを知っている生徒は多かったが、競技用の車いすを初めて見て触り興味は尽きなかった。車いすテニスに興味がなかった生徒もサーブ、レシーブの迫りに圧倒されていた。また、オリンピックアスリートの姿勢にも感動していた。令和6年パリパラリンピックや共生する社会について考えるよい機会になった。

◇事業写真



◇事業を振り返って

日常生活において知り合う機会のないパラリンピック選手に出会えることは大変貴重である。このような経験が、生徒の心の成長に繋がると考えられる。オリ・パラ推進事業は、PTAと共催(家庭教育学級)の取組であり、継続していただきたい事業の一つである。